

# 60歳代以上の投資信託等に関するアンケート調査 調査結果サマリー

2019年（平成31年）3月  
一般社団法人 投資信託協会

## Point

- 投資信託の良いイメージは、「少額から投資ができる」(25.7%)、「分散投資ができる」(18.2%)、「長期の資産形成に向いている」(17.6%)、「非課税制度が利用できる」(16.5%)が上位に挙がる。（P11）
- 投資信託の良いイメージを投資信託購入意向別で見ると、継続保持意向者では、前述の4項目に加え「値上がりの期待が持てる」のイメージも高い。一方で新規保持意向者では、前述の4項目に加え「積立で購入することができる」「投資や資産運用の初心者向け」のイメージも高い。また、意向なし層では、各項目ともスコアが低く、「特にない」が58.7%である。（P12）
- 金融商品・投資商品の認知状況をみると、「株式」(91.9%)の認知率が最も高く、次いで「投資信託」(84.1%)である。（P27）

■ 調査結果の概要	P.2
1.回答者属性	P.3
2.投資信託商品の保有状況	P.5
3.投資信託商品への意識	P.9
4.全般的な投資への意識と実態	P.17
5.60歳代以上の現在の生活や今後への意識	P.33

調査の目的	日本における60歳以上（個人）の投資信託等に対する意識等を把握し、調査結果を協会会員及び各種研究機関、メディア等に広く還元すると同時に、制度改正に活用する。				
調査手法	インターネット調査（マクロミルモニタ及び提携パネルより抽出）				
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他の3ブロック）				
調査対象	60歳以上の男女				
サンプル数	総計5,115サンプル				
		60-69歳	70-79歳	80歳以上	計
	男性	1,153	853	497	2,503
	首都圏	305	237	125	667
	阪神圏	174	143	81	398
	その他	674	473	291	1,438
	女性	1,214	1,006	432	2,652
	首都圏	317	272	173	762
	阪神圏	190	165	105	460
	その他	707	569	154	1,430
計	2,367	1,859	929	5,155	
<p>「首都圏」 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県</p> <p>「阪神圏」 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県</p> <p>「その他」 上記以外の道県</p> <p>「その他」地域の80歳以上女性は、地域×年齢×性別の人口構成比での回収が困難なため、最大数の回収にとどめ、欠損分は他の各セルで均等に回収した。本報告書内では、全体値参照時は、「全体（構成比）」として構成比通りにランダムに抽出した1,565サンプルを使用。</p>					
調査時期	2019年1月17日（木）～1月23日（水）				
調査主体	一般社団法人 投資信託協会				
調査委託先	株式会社 マクロミル				

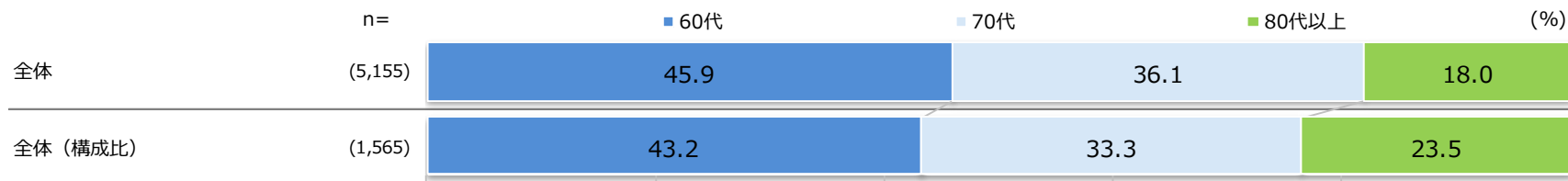
※スコアは小数点第二位で四捨五入し、小数点第一位まで掲載。

# 1. 回答者属性

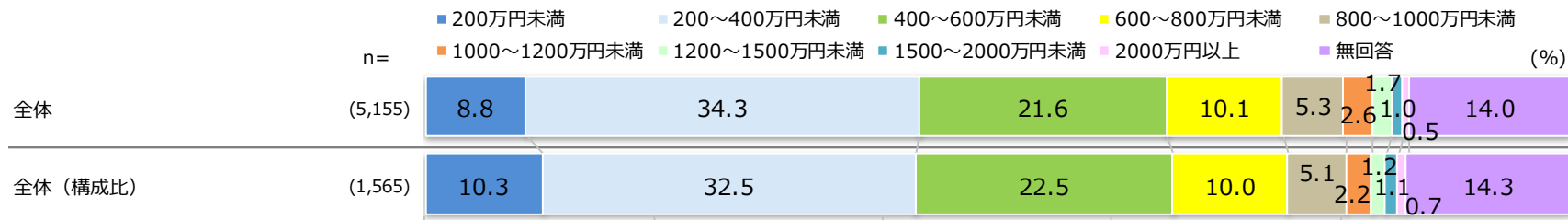
## 性別



## 年代

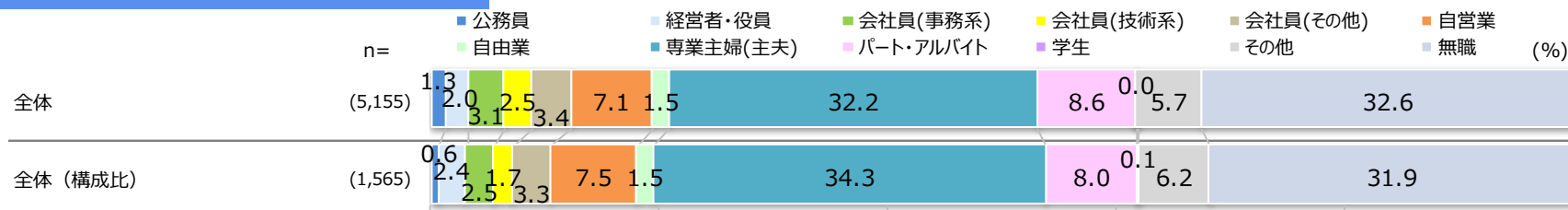


## 世帯年収



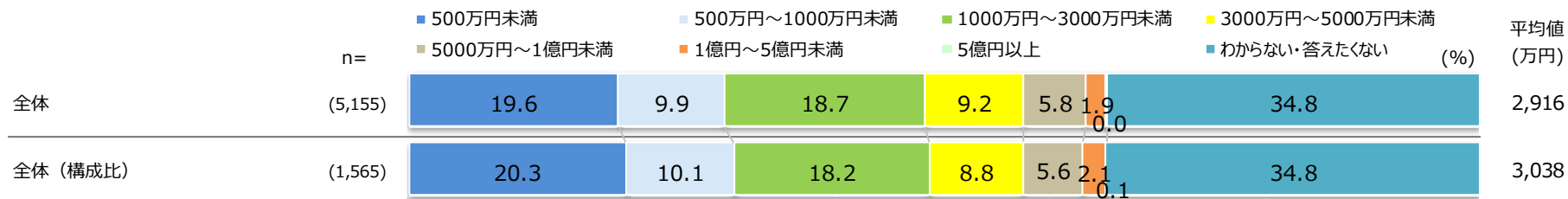
# 1. 回答者属性

## 職業



## 金融資産

(Q3)

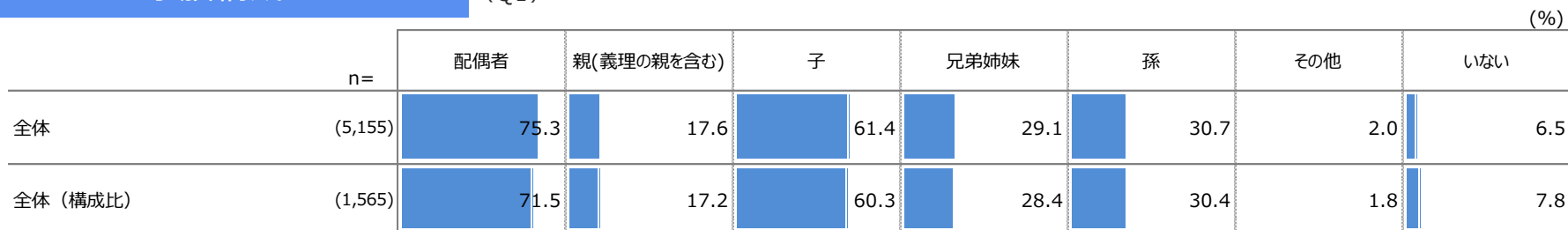


※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

500万円未満：250万円 / 500万円～1000万円未満：750万円 / 1000万円～3000万円未満：2000万円 / 3000万円～5000万円未満：4000万円 / 5000万円～1億円未満：7500万円 / 1億円～5億円未満：3億円 / 5億円以上：7億円

## 家族構成

(Q1)

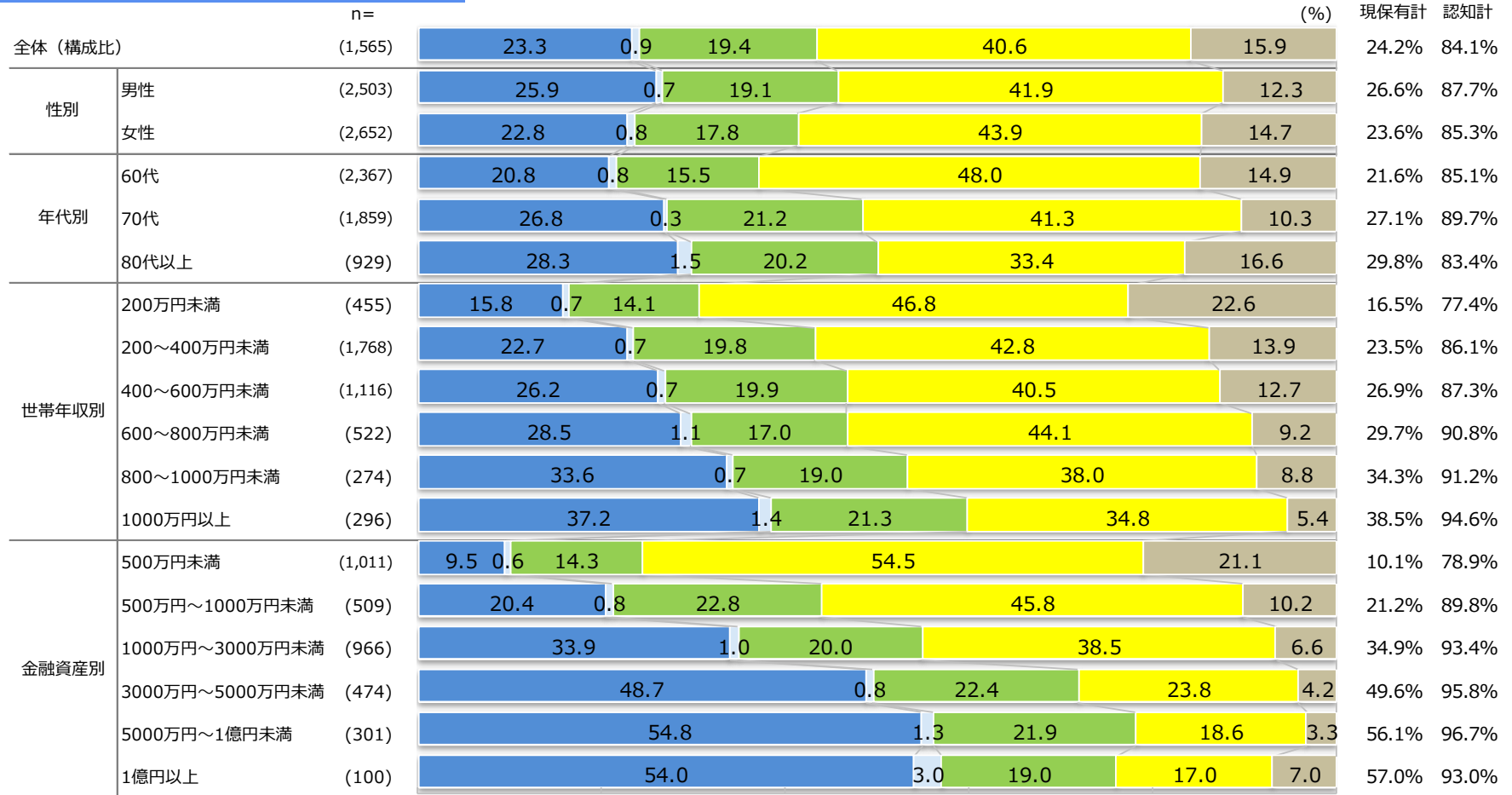


## 2. 投資信託商品の保有状況（1）

### 投資信託の保有・認知状況

(Q12)

■ 現保有 (自購入)   ■ 現保有 (非自購入)   ■ 非保有 (保有経験有)   ■ 非保有 (認知未保有)   ■ 非保有 (非認知)



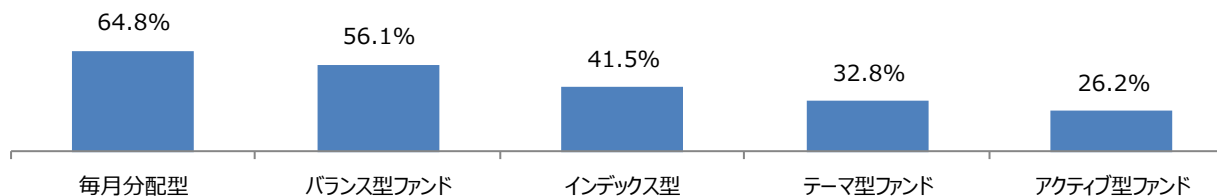
※現保有計：（「現保有(自購入)」+「現保有(非自購入)」）／認知計：（「現保有(自購入)」～「非保有(認知未保有)」）のスコア

- 60代以上の投資信託の現在保有率は、24.2%。
- 性別では女性より男性で保有率が高く、年代別では年代が上がるほど保有率が高い。

## 2. 投資信託商品の保有状況 (2)

### 投資信託の保有種類

(Q13) ※投資信託現保有者ベース(構成比)(n=378)



### 投資信託種類別の保有理由

(Q14) ※各投資信託現保有者ベース

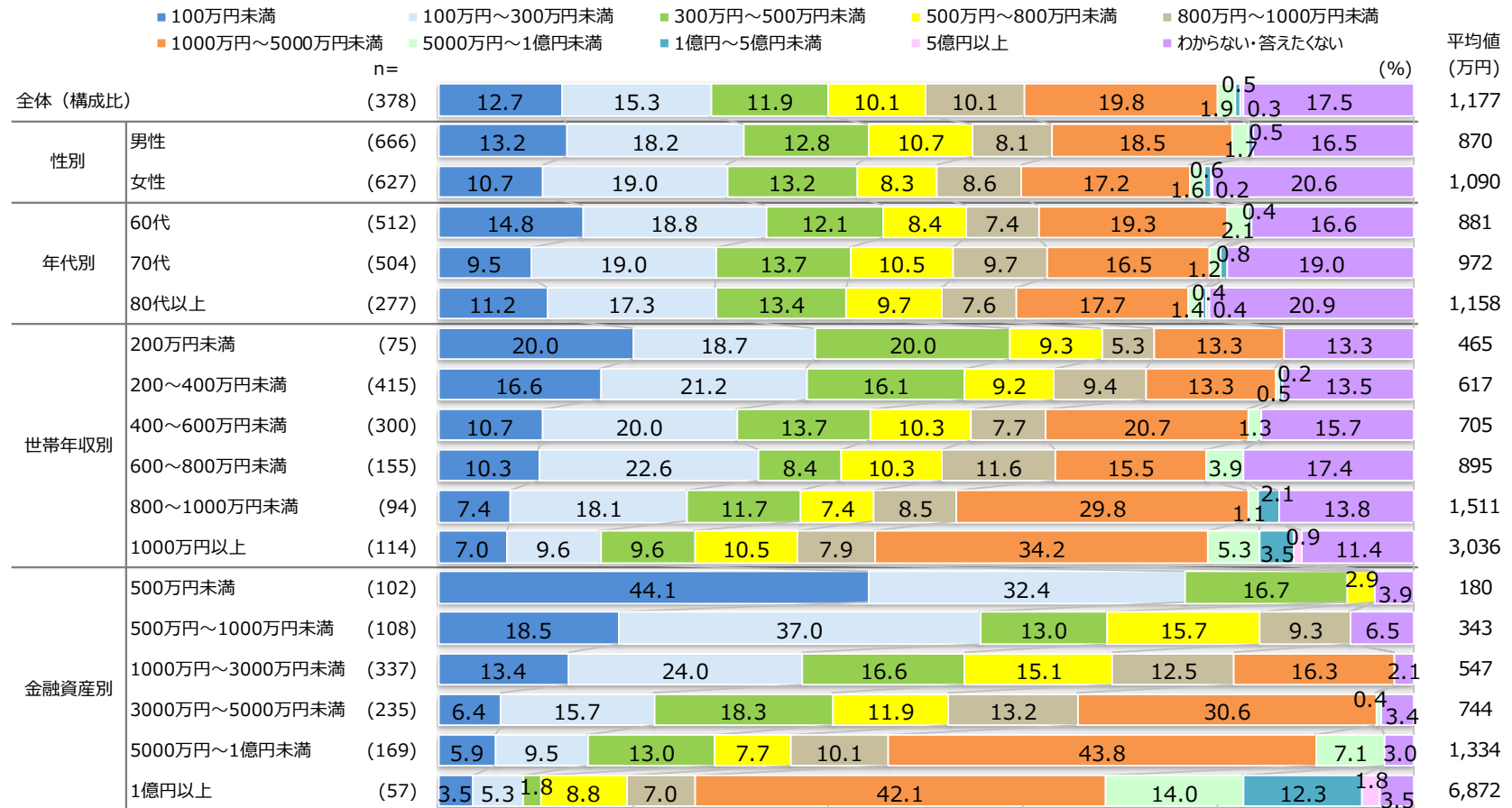
	毎月分配型 (n=841)	バランス型ファンド (n=726)	インデックス型 (n=558)	テーマ型ファンド (n=437)	アクティブ型ファンド (n=306)
1位	預貯金の金利が低いから 50.1%	預貯金の金利が低いから 47.1%	預貯金の金利が低いから 45.9%	預貯金の金利が低いから 34.1%	預貯金の金利が低いから 36.9%
2位	資産を分けて保有しておくため 25.0%	資産を分けて保有しておくため 36.6%	資産を分けて保有しておくため 32.3%	資産を分けて保有しておくため 30.2%	資産を分けて保有しておくため 29.7%
3位	自分の生活費のため 22.8%	自分の生活費のため 14.5%	投資そのものを楽しむため 16.7%	投資そのものを楽しむため 16.7%	投資そのものを楽しむため 23.2%
4位	投資そのものを楽しむため 15.2%	投資そのものを楽しむため 13.2%	自分の生活費のため 14.5%	自分の生活費のため 11.4%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 14.7%
5位	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため 13.3%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 12.9%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 13.6%	経済について学ぶため 10.1%	経済について学ぶため 10.1%

- 保有している投資信託の種類は、「毎月分配型」が最も多く、次いで「バランス型」。
- 保有理由は、種類に関わらず「預貯金の金利が低いから」「資産を分けて保有するため」。

## 2. 投資信託商品の保有状況 (3)

### 保有投資信託 合計現在価値

(Q16) ※投資信託現保有者ベース



100万円未満：50万円 / 100万円～300万円未満：200万円 / 300万円～500万円未満：400万円 / 500万円～800万円未満：650万円 / 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000万円～5000万円未満：1250万円 / 5000万円～1億円未満：7500万円 / 1億円～5億円未満：3億円 / 5億円以上：7億円

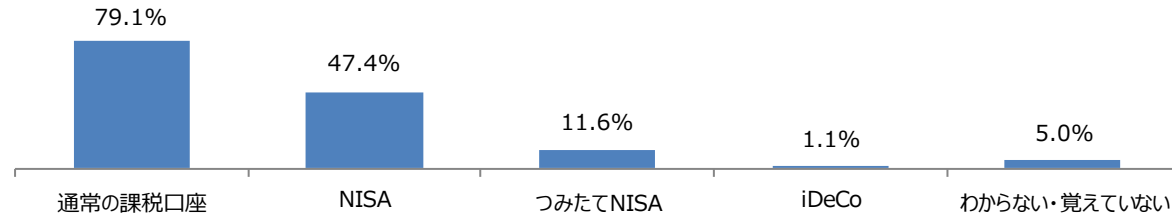
- 投資信託保有者における投資信託の合計現在価値は、「1000万円～5000万円未満」(19.8%)、「100万円～300万円未満」(15.3%)が多い。平均値は1,177万円。
- 世帯年収別で見ると、世帯年収が高いほど投資信託の合計現在価格も高い。



## 2. 投資信託商品の保有状況（4）

### 投資信託の口座

(Q15) ※投資信託現保有者ベース(構成比)(n=378)



### 投資信託を選ぶ基準

(Q17) ※投資信託現保有者ベース

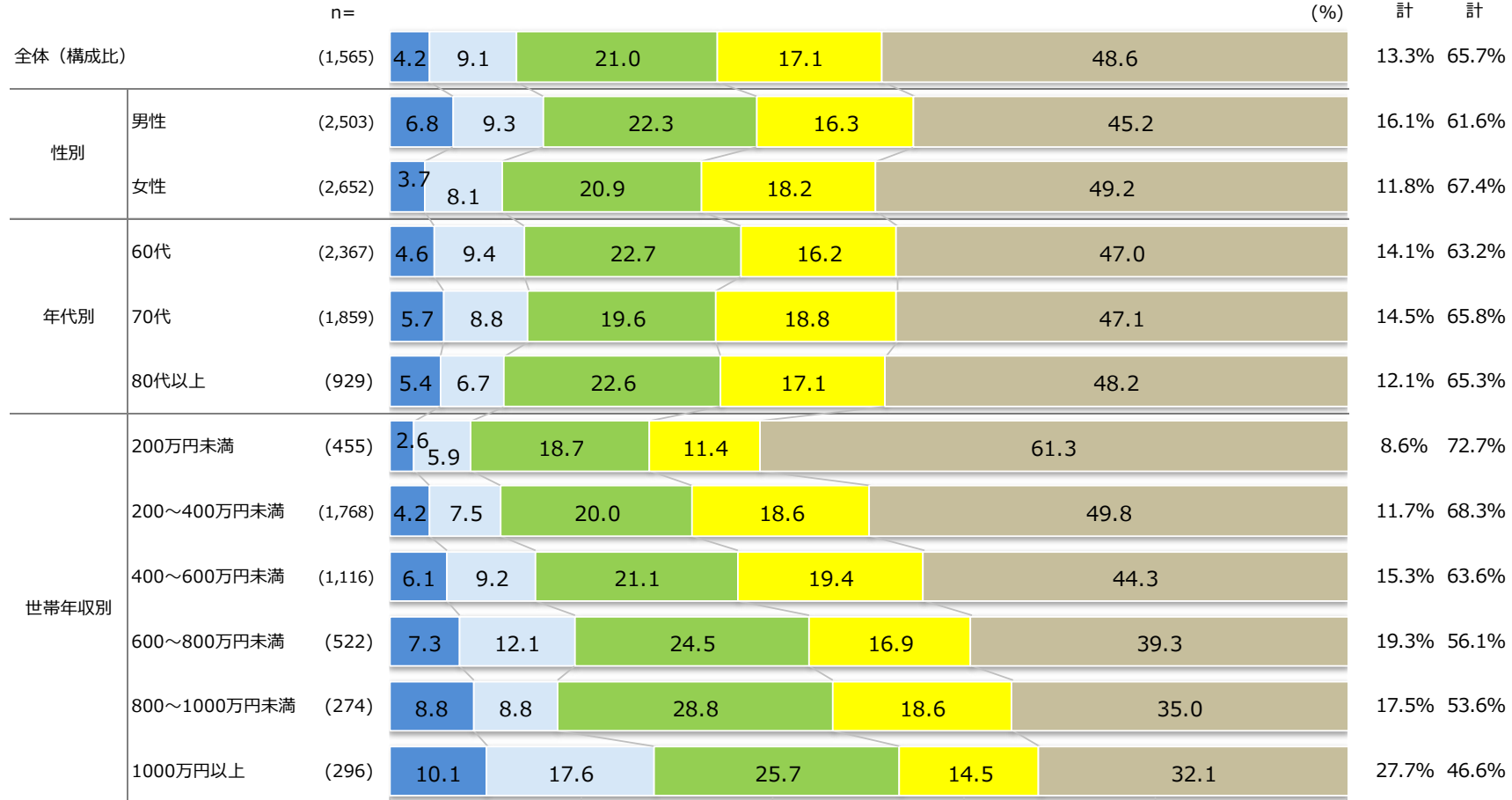
		基準											(%)
		運用実績が良い	定期的な分配金がある	値上がりの期待がもてる	手数料が安い	金融機関の担当者が薦めている	値下がりの不安が少ない	運用資産が多い	人気がある	知人や友人が薦めている	その他	特にな	
n=													
全体 (構成比)	(378)	41.8	34.9	30.4	28.0	28.0	25.1	17.7	4.8	2.4	1.1	10.8	
性別	男性 (666)	41.6	35.3	33.8	27.6	22.7	17.6	21.6	8.3	1.7	0.8	12.0	
	女性 (627)	37.3	38.6	32.4	26.2	35.1	26.8	19.9	5.7	4.0	0.3	9.1	

- 投資信託保有者における投資信託の口座は、「通常の課税口座」(79.1%)が最も多く、次いで「NISA」(47.4%)が多い。
- 投資信託保有者の投資信託を選ぶ基準は、「運用実績が良い」(41.8%)、「定期的な分配金がある」(34.9%)が高い。

### 3. 投資信託商品への意識（1）

#### 投資信託購入意向

(Q20) ■ 購入してみたい、保有し続けたい ■ やや購入してみたい、やや保有し続けたい ■ どちらともいえない ■ あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない ■ 購入したくない、保有し続けたくない



※意向あり計：（「購入してみたい、保有し続けたい」+「やや購入してみたい、やや保有し続けたい」）のスコア  
 ※意向なし計：（「購入したくない、保有し続けたくない」+「あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない」）のスコア

- 投資信託の購入意向率は、13.3%。性別では、女性より男性で購入意向率が高い。

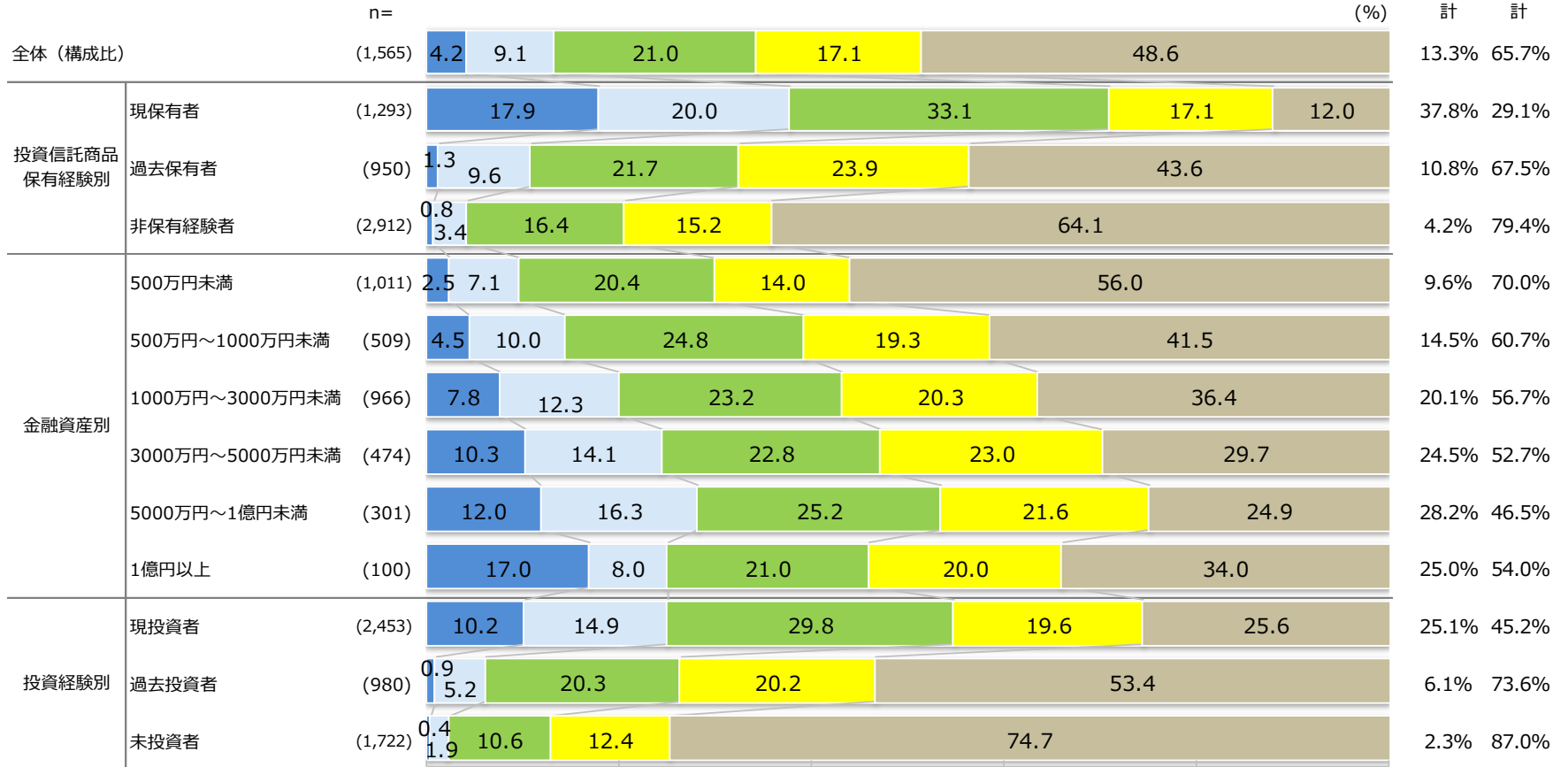
### 3. 投資信託商品への意識 (2)

#### 投資信託購入意向

(Q20)

■ 購入してみたい、保有し続けたい ■ やや購入してみたい、やや保有し続けたい ■ どちらともいえない ■ あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない ■ 購入したくない、保有し続けたくない

意向あり 意向なし  
計 計



※意向あり計: (「購入してみたい、保有し続けたい」+「やや購入してみたい、やや保有し続けたい」) のスコア  
 ※意向なし計: (「購入したくない、保有し続けたくない」+「あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない」) のスコア

- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者では購入意向率が37.8%であるのに対し、非保有経験者では購入意向率は4.2%に留まる。
- 投資経験別で見ると、現投資者では購入意向率が25.1%であるのに対し、過去投資者では6.1%、未投資者では2.3%に留まる。

### 3. 投資信託商品への意識 (3)

#### 投資信託の良いイメージ

(Q18)

		n=	少額から投資ができる	分散投資ができる	長期の資産形成に向いている	非課税制度が利用できる	積み立てで購入することができる	投資や資産運用の初心者向け	値上がりの期待がもてる	プロが運用するので安心	値下がりの不安が少ない	海外投資が気軽にできる	その他	特にない
全体 (構成比)		(1,565)	25.7	18.2	17.6	16.5	13.5	12.6	11.4	9.8	7.8	5.0	0.5	45.2
性別	男性	(2,503)	27.2	22.9	19.6	16.4	12.4	14.7	13.8	10.2	8.0	5.4	1.2	40.6
	女性	(2,652)	25.5	17.0	15.3	18.5	13.8	11.3	10.7	9.4	6.4	4.1	0.6	44.6
年代別	60代	(2,367)	25.7	20.0	16.6	16.9	12.8	12.1	11.4	9.6	6.8	4.8	0.8	44.3
	70代	(1,859)	26.6	20.0	19.3	19.0	14.2	13.6	12.6	8.8	7.2	4.7	0.8	40.8
	80代以上	(929)	27.3	19.6	15.5	15.9	11.6	13.9	13.2	12.1	7.9	4.8	1.5	42.1
世帯年収別	200万円未満	(455)	22.9	10.1	11.0	14.1	10.5	10.3	6.2	6.4	3.5	4.4	0.7	55.8
	200~400万円未満	(1,768)	25.9	17.9	16.6	17.1	13.1	13.5	11.9	9.7	8.0	4.5	1.0	43.9
	400~600万円未満	(1,116)	28.4	22.2	20.1	18.4	13.1	13.9	13.1	9.8	6.9	3.9	0.9	39.3
	600~800万円未満	(522)	26.6	24.3	19.5	19.0	15.1	17.2	15.1	12.1	7.5	6.3	1.1	35.4
	800~1000万円未満	(274)	30.7	23.4	22.3	23.0	13.9	13.9	15.3	10.6	8.8	8.0	1.1	33.6
	1000万円以上	(296)	34.8	34.8	26.4	18.9	19.3	12.8	20.3	12.5	11.1	7.1	0.7	25.3

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 投資信託の良いイメージは、「少額から投資ができる」(25.7%)、「分散投資ができる」(18.2%)、「長期の資産形成に向いている」(17.6%)、「非課税制度が利用できる」(16.5%)が上位に挙がる。

### 3. 投資信託商品への意識 (4)

#### 投資信託の良いイメージ

(Q18)

		n=	少額から 投資ができる	分散投資が できる	長期の 資産形成に 向いている	非課税制度 が利用できる	積み立てで 購入すること ができる	投資や 資産運用の 初心者向け	値上がりの 期待がもてる	プロが運用 するので安心	値下がりの 不安が少ない	海外投資が 気軽にできる	その他	特にな い
全体 (構成比)		(1,565)	25.7	18.2	17.6	16.5	13.5	12.6	11.4	9.8	7.8	5.0	0.5	45.2
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(1,293)	36.3	37.9	33.3	28.7	14.9	20.4	22.9	17.2	12.1	9.7	0.7	9.4
	過去保有者	(950)	39.4	28.3	21.6	23.2	22.4	20.5	15.3	9.5	9.2	5.6	1.7	23.9
	非保有経験者	(2,912)	17.6	9.2	8.9	10.7	9.3	7.1	6.5	6.6	4.3	2.3	0.7	63.6
金融資産 別	500万円未満	(1,011)	24.7	11.2	12.6	13.6	13.8	12.5	8.8	7.8	6.4	4.0	1.0	50.8
	500万円～1000万円未満	(509)	29.9	17.5	14.7	19.6	16.7	15.7	14.1	10.8	5.5	3.9	1.2	36.7
	1000万円～3000万円未満	(966)	33.5	27.6	22.2	23.0	14.8	18.9	15.6	13.4	9.6	5.9	0.9	29.3
	3000万円～5000万円未満	(474)	35.2	30.6	31.4	24.5	14.1	19.2	20.5	11.6	8.9	7.6	0.4	21.7
	5000万円～1億円未満	(301)	29.6	39.5	30.9	23.3	11.0	16.9	17.9	12.0	8.6	11.3	0.3	21.6
	1億円以上	(100)	26.0	37.0	25.0	17.0	11.0	11.0	21.0	13.0	14.0	9.0	2.0	27.0
投資信託 購入意向 別	継続保持意向者	(489)	44.8	52.8	40.7	38.4	20.2	26.8	33.5	23.3	14.1	14.1	0.4	1.4
	新規保持意向者	(226)	56.2	35.8	31.9	34.1	36.3	31.0	25.2	23.5	13.3	12.4	0.4	8.8
	意向なし	(3,328)	18.1	11.4	10.7	11.3	8.8	8.3	6.6	5.2	4.4	2.3	1.2	58.7

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 投資信託購入意向別でみると、継続保持意向者では、前述の4項目に加え「値上がりの期待が持てる」のイメージも高い。一方で新規保持意向者では、前述の4項目に加え「積立で購入することができる」「投資や資産運用の初心者向け」のイメージも高い。また、意向なし層では、各項目ともスコアが低く、「特にない」が58.7%である。

### 3. 投資信託商品への意識 (5)

#### 投資信託の良くないイメージ

(Q19)

		n=	損をしそうで怖い	手数料がもったいない	値上がりの期待が持てない	理解するのが難しそう	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方が良い	その他	特にな
全体 (構成比)		(1,565)	32.9	29.5	19.7	19.2	13.5	0.8	31.3
性別	男性	(2,503)	27.0	31.8	20.1	15.2	17.9	0.9	31.6
	女性	(2,652)	39.3	27.6	21.6	23.8	11.2	0.6	28.5
年代別	60代	(2,367)	37.9	30.7	19.8	20.1	12.5	0.5	29.6
	70代	(1,859)	31.8	30.1	20.9	19.8	15.3	0.6	29.2
	80代以上	(929)	24.7	26.3	23.7	17.9	17.8	1.4	32.8
世帯年収別	200万円未満	(455)	37.6	25.5	20.0	19.6	9.0	0.2	36.3
	200~400万円未満	(1,768)	31.9	28.9	22.1	21.0	13.9	0.9	30.7
	400~600万円未満	(1,116)	33.9	31.0	21.3	18.5	16.3	0.8	28.5
	600~800万円未満	(522)	33.5	33.0	18.2	17.8	16.7	1.0	25.7
	800~1000万円未満	(274)	31.0	36.1	18.2	17.9	16.4	0.4	28.5
	1000万円以上	(296)	30.4	35.1	25.3	15.9	22.6	1.0	22.6

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 投資信託の良くないイメージは、「損をしそうで怖い」(32.9%)、「手数料がもったいない」(29.5%)が上位に挙がる。

### 3. 投資信託商品への意識（6）

#### 投資信託の良くないイメージ

(Q19)

		n=	損をしそうで怖い	手数料がもったいない	値上がりの期待が持てない	理解するのが難しそう	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方が良い	その他	特にない
全体（構成比）		(1,565)	32.9	29.5	19.7	19.2	13.5	0.8	31.3
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	34.2	44.4	29.7	20.4	16.9	1.2	12.2
	過去保有者	(950)	31.9	43.5	29.8	17.3	28.9	1.5	12.2
	非保有経験者	(2,912)	33.4	18.6	14.1	20.0	8.6	0.3	43.8
金融資産別	500万円未満	(1,011)	34.3	23.4	18.5	20.8	10.4	0.8	36.1
	500万円～1000万円未満	(509)	34.2	31.8	20.2	21.8	17.1	0.8	25.3
	1000万円～3000万円未満	(966)	35.5	33.0	27.0	19.8	17.4	0.8	19.4
	3000万円～5000万円未満	(474)	33.5	40.1	25.3	19.6	19.8	0.6	18.6
	5000万円～1億円未満	(301)	37.2	49.8	26.2	20.3	25.9	1.0	11.3
	1億円以上	(100)	32.0	52.0	14.0	12.0	28.0	1.0	16.0
投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	31.3	46.4	24.5	21.3	12.3	1.6	15.5
	新規保持意向者	(226)	40.3	26.5	23.9	29.2	14.6	0.4	16.8
	意向なし	(3,328)	33.0	25.8	19.1	18.0	14.2	0.7	37.0

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者・過去保有者では、「手数料がもったいない」が最も高い。また、過去保有者では、「自分で株などを運用した方が良い」も高い。非保有経験者では、「損をしそうで怖い」以外のイメージは低く、「特にない」も43.8%と半数近い。
- 投資信託購入意向別で見ると、新規保持意向者では、「損をしそうで怖い」が最も高いほか、「理解するのが難しそう」も高い。

### 3. 投資信託商品への意識（7）

#### 投資信託購入時に欲しいサポート

（Q21） ※投資信託購入意向者ベース

		n=	投資信託の商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい	金融機関の担当者が分かりやすく説明して欲しい	WEBサイトでの情報提供を充実させてほしい	フィナンシャルプランナーなど第三者の意見が欲しい	セミナーや説明会を開催してほしい	その他	特にない
全体		(715)	50.5	35.7	34.3	29.9	21.7	0.3	12.3
性別	男性	(403)	50.6	29.8	35.5	26.3	20.1	0.2	14.9
	女性	(312)	50.3	43.3	32.7	34.6	23.7	0.3	9.0
年代別	60代	(333)	53.2	32.1	35.7	30.0	23.1	0.6	11.4
	70代	(270)	46.3	40.7	31.9	28.9	17.0	-	14.4
	80代以上	(112)	52.7	33.9	35.7	32.1	28.6	-	9.8
世帯年収別	200万円未満	(39)	38.5	48.7	30.8	35.9	25.6	2.6	7.7
	200～400万円未満	(207)	50.2	29.5	35.3	32.4	21.7	-	13.5
	400～600万円未満	(171)	52.6	38.6	35.1	29.8	15.2	-	8.8
	600～800万円未満	(101)	48.5	37.6	33.7	26.7	19.8	-	15.8
	800～1000万円未満	(48)	54.2	35.4	25.0	25.0	18.8	-	18.8
	1000万円以上	(82)	47.6	30.5	34.1	29.3	30.5	-	13.4

※「全体」スコアで降順ソート

- 投資信託購入意向者における投資信託購入時に欲しいサポートは、「商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい」(50.5%)が最も高く、次いで「金融機関の担当者が分かりやすく説明して欲しい」(35.7%)。



### 3. 投資信託商品への意識 (8)

#### 投資信託購入時に欲しいサポート

(Q21) ※投資信託購入意向者ベース

		n=	投資信託の商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい	金融機関の担当者が分かりやすく説明して欲しい	WEBサイトでの情報提供を充実させてほしい	フィナンシャルプランナーなど第三者の意見が欲しい	セミナーや説明会を開催してほしい	その他	特にない	(%)
全体		(715)	50.5	35.7	34.3	29.9	21.7	0.3	12.3	
投資信託商品保有経験別	現保有者	(489)	48.9	36.2	31.1	28.2	19.2	0.2	14.3	
	過去保有者	(103)	52.4	32.0	41.7	32.0	23.3	1.0	7.8	
	非保有経験者	(123)	55.3	36.6	40.7	35.0	30.1	-	8.1	
金融資産別	500万円未満	(97)	53.6	35.1	38.1	32.0	23.7	-	8.2	
	500万円～1000万円未満	(74)	56.8	28.4	32.4	29.7	20.3	-	6.8	
	1000万円～3000万円未満	(194)	49.0	30.4	33.0	29.9	24.2	0.5	12.4	
	3000万円～5000万円未満	(116)	52.6	42.2	29.3	33.6	24.1	-	12.9	
	5000万円～1億円未満	(85)	50.6	42.4	37.6	30.6	21.2	-	11.8	
	1億円以上	(25)	52.0	32.0	28.0	24.0	32.0	-	16.0	
投資経験別	現投資者	(615)	49.6	35.4	32.8	28.1	21.0	0.3	13.2	
	過去投資者	(60)	53.3	31.7	45.0	35.0	23.3	-	10.0	
	未投資者	(40)	60.0	45.0	40.0	50.0	30.0	-	2.5	

※「全体」スコアで降順ソート

- 投資信託商品保有経験別で見ると、過去保有者・非保有経験者では、「WEBサイトでの情報提供を充実させてほしい」も高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (1)

## 投資経験

(Q4)

■ 現在投資している    ■ 現在は投資していないが、していたことはある    ■ 投資したことはない

		n=	投資経験計 (%)			投資経験計 (%)
全体 (構成比)		(1,565)	46.1	18.4	35.5	64.5%
性別	男性	(2,503)	52.9	20.7	26.4	73.6%
	女性	(2,652)	42.5	17.4	40.0	60.0%
年代別	60代	(2,367)	42.2	17.6	40.2	59.8%
	70代	(1,859)	52.2	20.0	27.8	72.2%
	80代以上	(929)	52.0	20.7	27.3	72.7%
世帯年収別	200万円未満	(455)	33.0	19.3	47.7	52.3%
	200~400万円未満	(1,768)	44.9	21.5	33.5	66.5%
	400~600万円未満	(1,116)	52.4	18.0	29.6	70.4%
	600~800万円未満	(522)	55.6	17.0	27.4	72.6%
	800~1000万円未満	(274)	58.4	15.7	25.9	74.1%
	1000万円以上	(296)	69.9	13.5	16.6	83.4%
金融資産別	500万円未満	(1,011)	24.2	24.2	51.5	48.5%
	500万円~1000万円未満	(509)	51.3	22.0	26.7	73.3%
	1000万円~3000万円未満	(966)	65.5	17.6	16.9	83.1%
	3000万円~5000万円未満	(474)	77.2	12.9	9.9	90.1%
	5000万円~1億円未満	(301)	84.1	7.0	9.0	91.0%
	1億円以上	(100)	87.0	8.0	5.0	95.0%

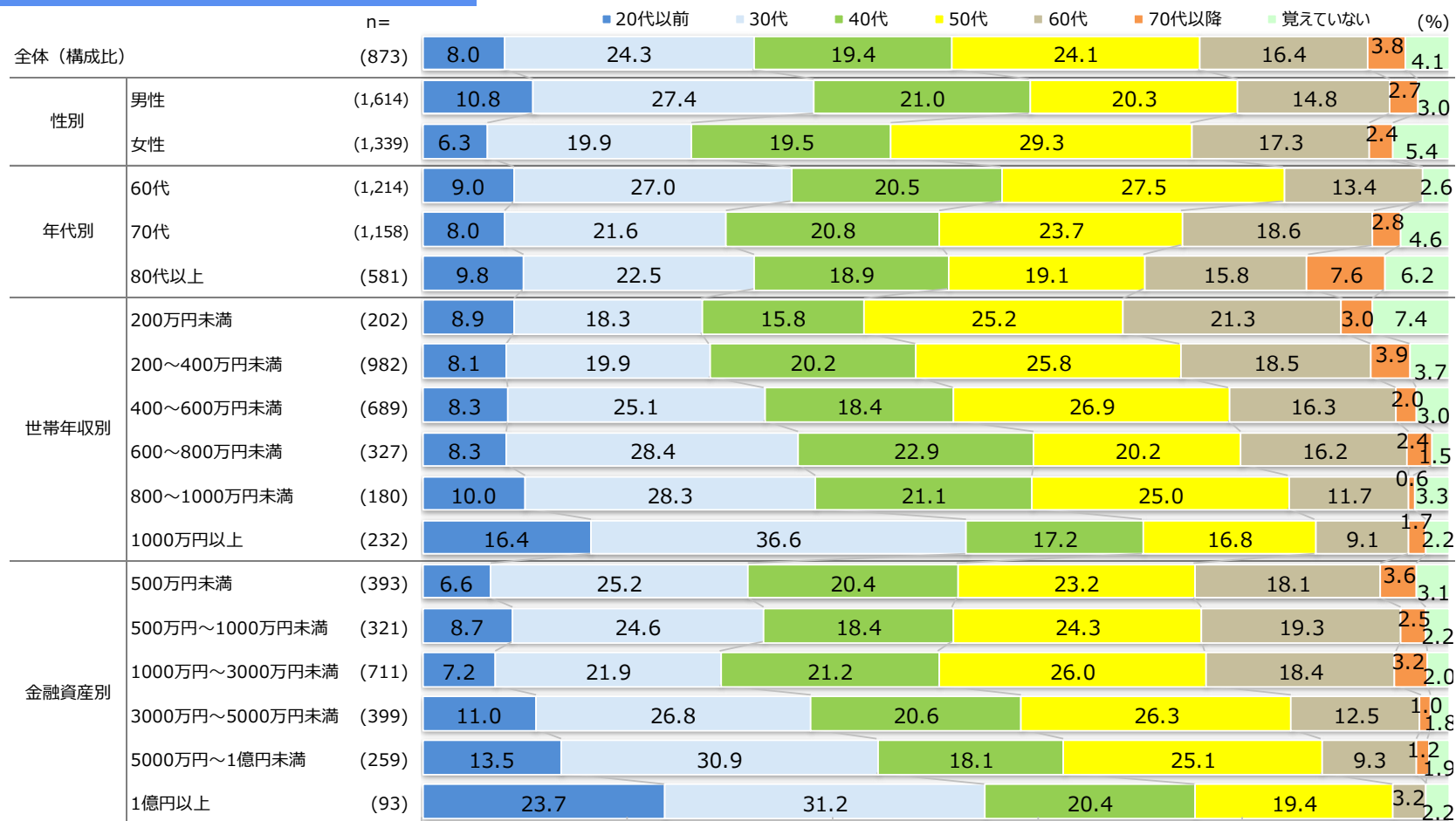
※投資経験計: (「現在投資している」+「現在は投資していないが、していたことはある」) のスコア

- 60代以上における現投資率は、46.1%。投資経験率は、64.5%。
- 性別で見ると、男性では女性より現投資率が高く52.9%。年代別で見ると、70代・80代以上では60代より現投資率が高く約52%。
- 世帯年収別では、年収が上がるほど現投資率も高く、世帯年収400万円以上で現投資率が50%を超える。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (2)

## 初めて投資をした年齢

(Q5) ※投資経験者ベース



- 投資経験者における初めて投資した年齢は、「30代」(24.3%)、「50代」(24.1%)が高い。
- 性別で見ると、男性では、「30代」(27.4%)が最も高く、女性では「50代」(29.3%)が最も高い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「20代」「30代」といった若年代での割合が高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (3)

## 初めて投資をしたきっかけ

(Q6) ※投資経験者ベース

		n=	自分から自然と興味を持った	金融機関から勧められた	家族や友人、知人に勧められた	定期預金や保険が満期になりお金が戻ってきた	テレビや雑誌、インターネット等の情報に影響を受けた	退職金をもらった	贈与や相続を受けた	ライフステージが変化した	その他
全体 (構成比)		(873)	36.9	21.6	21.4	14.7	10.7	9.9	8.8	4.7	3.1
性別	男性	(1,614)	44.6	18.8	16.0	12.3	12.5	12.0	6.6	7.2	3.5
	女性	(1,339)	28.2	27.7	27.4	16.8	8.6	5.4	9.0	4.3	2.5
年代別	60代	(1,214)	35.7	22.7	19.9	13.5	13.0	6.8	8.3	6.0	3.0
	70代	(1,158)	37.1	21.5	23.0	14.4	9.9	10.4	8.1	5.4	2.8
	80代以上	(581)	40.3	25.8	20.1	16.0	7.4	10.7	5.5	6.5	3.6
世帯年収別	200万円未満	(202)	35.1	26.2	16.3	5.9	13.9	6.9	10.4	3.0	3.0
	200~400万円未満	(982)	37.7	22.0	21.0	13.4	11.1	10.0	6.5	4.7	3.0
	400~600万円未満	(689)	35.8	21.0	22.4	14.7	10.6	11.8	6.1	6.5	4.5
	600~800万円未満	(327)	41.0	18.7	23.9	16.8	10.1	8.0	10.7	6.1	2.8
	800~1000万円未満	(180)	37.8	24.4	22.2	16.7	12.2	6.7	8.3	7.8	2.8
	1000万円以上	(232)	39.2	22.8	25.0	15.5	8.6	4.7	9.1	9.9	1.3
金融資産別	500万円未満	(393)	41.7	18.8	18.3	9.2	14.0	8.4	6.4	3.8	4.1
	500万円~1000万円未満	(321)	33.0	20.2	21.8	14.0	13.7	8.7	7.8	4.0	2.8
	1000万円~3000万円未満	(711)	37.0	21.9	20.8	13.8	12.2	11.4	8.9	6.8	3.0
	3000万円~5000万円未満	(399)	37.1	24.1	20.8	21.1	9.5	9.5	8.3	8.0	4.5
	5000万円~1億円未満	(259)	37.5	27.4	24.7	18.5	8.5	8.1	10.0	8.5	1.2
	1億円以上	(93)	33.3	31.2	29.0	20.4	8.6	8.6	9.7	6.5	1.1

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 初めて投資をしたきっかけは、「自分から自然と興味を持った」(36.9%)が最も高い。次いで「金融機関から勧められた」(21.6%)、「家族や友人、知人に勧められた」(21.4%)が高い。
- 性別で見ると、男性では、「自分から自然と興味を持った」(44.6%)が最も高く、他の項目と25ポイント以上の差がある。一方で女性では「自分から自然と興味を持った」「金融機関から勧められた」「家族や友人、知人に勧められた」がいずれも27-28%前後で同等に高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (4)

## 投資理由

(Q7) ※投資経験者ベース

		n=	預貯金の金利が低いから	投資そのものを楽しむため	資産を分けて保有しておくため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	自分の生活費のため	経済について学ぶため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	相続や贈与の資金のため	その他	特に理由はない
全体 (構成比)		(873)	45.4	30.8	25.7	17.2	16.4	15.2	11.9	6.0	4.8	2.1	12.3
性別	男性	(1,614)	45.0	37.5	28.0	19.3	20.2	16.4	12.0	6.4	4.6	1.5	9.7
	女性	(1,339)	51.9	25.4	24.6	16.4	15.5	11.7	12.2	6.0	4.6	2.0	10.7
年代別	60代	(1,214)	50.7	29.8	27.0	17.0	18.7	13.8	10.3	4.6	3.6	1.9	8.3
	70代	(1,158)	46.4	33.1	26.2	17.3	17.4	13.6	14.1	6.2	3.9	1.8	11.3
	80代以上	(581)	46.3	34.6	26.0	21.7	18.1	16.4	11.9	9.8	8.1	1.4	11.7
世帯年収別	200万円未満	(202)	41.6	28.2	14.4	18.3	24.8	12.4	6.9	4.0	1.5	2.0	10.9
	200~400万円未満	(982)	48.4	30.0	21.6	17.9	19.2	13.5	13.2	6.3	4.1	1.9	11.0
	400~600万円未満	(689)	48.3	36.0	28.7	17.4	17.6	15.2	12.6	6.4	3.8	1.6	8.6
	600~800万円未満	(327)	47.7	35.8	30.9	19.9	16.8	14.4	12.2	7.3	6.1	1.5	9.2
	800~1000万円未満	(180)	53.3	32.8	35.6	23.9	16.7	15.0	12.8	6.1	6.7	2.2	7.8
	1000万円以上	(232)	50.0	35.3	37.5	22.4	15.1	17.2	12.1	6.5	8.2	3.0	8.2
金融資産別	500万円未満	(393)	34.9	34.1	12.7	15.3	19.1	16.8	10.4	7.1	2.8	1.8	10.2
	500万円~1000万円未満	(321)	44.5	34.3	19.6	16.2	17.8	12.5	12.1	4.0	3.4	1.2	10.0
	1000万円~3000万円未満	(711)	53.2	31.2	28.3	19.8	19.7	14.8	11.8	7.2	4.8	2.4	6.9
	3000万円~5000万円未満	(399)	56.6	34.1	36.8	18.8	18.5	17.5	14.0	7.8	5.8	2.5	7.3
	5000万円~1億円未満	(259)	55.6	36.7	42.9	27.8	15.4	13.5	13.1	8.1	8.9	2.7	5.0
	1億円以上	(93)	48.4	38.7	48.4	24.7	18.3	16.1	15.1	6.5	11.8	1.1	9.7

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 投資理由は、「預貯金の金利が低いから」(45.4%)が最も高く、次いで「投資そのものを楽しむため」(30.8%)、「資産を分けて保有しておくため」(25.7%)が高い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「資産を分けて保有しておくため」が高く、年収が下がるほど「自分の生活費のため」が高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (5)

## 投資未経験理由

(Q8) ※投資未経験者ベース

(%)

		n=	投資の知識がないから	そもそも投資に興味がないから	投資するための資金がないから	損をするのが怖いから	賭け事のように嫌だから	なんとなく機会がなかったから	資産を増やす必要性を感じないから	周りに投資している人がいないから	その他	特にな
全体 (構成比)		(692)	38.6	37.0	33.2	28.5	20.4	3.9	3.2	2.3	1.6	14.0
性別	男性	(889)	31.4	37.5	36.3	25.6	20.2	6.2	3.8	2.0	1.5	15.4
	女性	(1,313)	42.2	36.6	33.4	33.7	20.9	5.0	4.0	3.5	0.8	12.7
年代別	60代	(1,153)	38.7	36.4	34.0	34.3	21.8	5.8	3.0	2.9	0.7	13.3
	70代	(701)	38.4	38.7	35.9	27.0	18.5	5.1	4.9	3.1	1.6	11.4
	80代以上	(348)	33.9	35.3	33.6	24.7	21.3	5.2	4.9	2.3	1.1	20.4
世帯年収別	200万円未満	(253)	35.2	28.5	34.8	25.3	18.6	4.0	2.4	3.2	1.2	19.0
	200~400万円未満	(786)	37.2	39.2	39.2	27.6	18.4	4.7	4.3	3.1	1.4	12.0
	400~600万円未満	(427)	36.3	38.6	34.4	29.5	21.3	4.9	3.5	3.0	0.9	12.4
	600~800万円未満	(195)	44.6	42.6	30.3	41.0	26.7	8.2	4.1	3.1	1.5	9.2
	800~1000万円未満	(94)	36.2	33.0	34.0	37.2	18.1	4.3	3.2	2.1	-	10.6
	1000万円以上	(64)	37.5	39.1	15.6	40.6	23.4	6.3	7.8	1.6	-	9.4
金融資産別	500万円未満	(618)	33.3	35.3	49.0	28.0	18.1	5.5	3.4	2.4	1.3	9.4
	500万円~1000万円未満	(188)	45.7	36.2	36.7	35.6	21.8	5.9	3.7	2.1	-	6.9
	1000万円~3000万円未満	(255)	47.8	46.7	28.2	42.7	29.8	6.7	4.3	3.9	0.8	4.3
	3000万円~5000万円未満	(75)	48.0	42.7	17.3	46.7	28.0	8.0	6.7	5.3	4.0	5.3
	5000万円~1億円未満	(42)	50.0	40.5	4.8	57.1	31.0	7.1	9.5	4.8	-	2.4
	1億円以上	(7)	28.6	28.6	-	28.6	28.6	14.3	-	14.3	-	28.6

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 投資未経験理由は、「投資の知識がないから」(38.6%)、「そもそも投資に興味がないから」(37.0%)、「投資するための資金がないから」(33.2%)、「損をするのが怖いから」(28.5%)が上位に挙がる。
- 性別で見ると、女性では男性と比べ「投資の知識がないから」「損をするのが怖いから」が高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (6)

## 投資の経験・考え方

(Q9) ※投資経験者ベース

		n=	年齢を重ねるにつれて、自分の判断に自信がなくなってきた	経験を重ねて、自分の判断に自信を持っている	年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターンへの投資をするようになった	経験を重ねて、ハイリスク・ハイリターンへの投資をするようになった	以前より運用期間を短く考えるようになった	以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった	積立投資の効果を実感したことがある	過去に想像以上のハイリターンを得たことがある	過去に自分の投資を後悔したことがある
全体 (構成比)		(873)	30.7	15.5	45.7	12.3	32.3	46.2	21.5	32.4	63.0
性別	男性	(1,614)	24.9	17.8	43.1	14.7	27.1	37.0	22.4	32.4	64.9
	女性	(1,339)	41.7	10.1	50.0	10.0	35.2	53.8	17.3	29.6	64.5
年代別	60代	(1,214)	30.5	13.4	45.1	12.0	27.3	40.9	19.5	29.2	63.5
	70代	(1,158)	33.4	13.8	46.3	11.7	31.3	46.3	20.1	32.0	65.5
	80代以上	(581)	34.9	17.0	48.7	15.5	37.0	49.2	21.2	33.4	65.6
世帯年収別	200万円未満	(202)	41.1	14.9	39.1	14.4	31.7	48.0	12.4	26.7	74.8
	200~400万円未満	(982)	38.1	11.6	48.8	10.6	32.6	50.3	18.6	28.9	67.7
	400~600万円未満	(689)	31.6	15.1	48.3	14.1	28.3	43.5	21.3	34.0	64.6
	600~800万円未満	(327)	25.1	16.2	43.7	12.8	32.7	36.7	21.7	29.4	63.3
	800~1000万円未満	(180)	25.6	16.1	44.4	15.0	29.4	38.3	25.6	33.9	53.3
	1000万円以上	(232)	22.0	22.8	39.2	19.8	28.9	34.5	31.9	43.5	57.3
金融資産別	500万円未満	(393)	37.2	14.5	37.2	13.5	29.8	44.0	17.3	24.2	66.2
	500万円~1000万円未満	(321)	34.0	12.8	45.5	16.2	34.9	43.0	19.6	34.6	67.0
	1000万円~3000万円未満	(711)	33.6	15.2	48.1	14.2	32.1	42.9	20.8	29.7	65.3
	3000万円~5000万円未満	(399)	31.1	16.8	54.4	11.5	34.1	46.6	25.3	32.8	63.2
	5000万円~1億円未満	(259)	26.3	13.1	49.8	15.4	29.7	40.2	26.3	41.3	67.6
	1億円以上	(93)	16.1	26.9	46.2	19.4	26.9	43.0	25.8	51.6	66.7

- 投資経験者の投資の経験・考え方については、「過去に自分の投資を後悔したことがある」(63.0%)、「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」(46.2%)、「年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターンへの投資をするようになった」(45.7%)という意識を持っている割合が高い。
- 世帯年収別で見ると、1000万円以上では「積立投資の効果を実感したことがある」(31.9%)が低年収層と比べて高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (7)

## 利用を検討してもよい金融商品 (Q10)

		n=	預貯金	株式	投資信託	保険	債券	外貨建て商品	不動産投信	その他の金融商品	金融商品は利用を検討しない
全体 (構成比)		(1,565)	46.5	30.4	17.3	11.2	8.2	7.9	4.8	0.5	35.2
性別	男性	(2,503)	43.6	43.0	22.1	11.3	8.8	10.2	5.9	0.8	30.8
	女性	(2,652)	47.9	23.5	15.7	12.6	8.1	7.3	3.9	0.6	36.4
年代別	60代	(2,367)	47.7	31.8	19.1	13.4	8.5	10.0	4.6	0.5	32.3
	70代	(1,859)	45.2	34.1	18.5	10.8	7.7	7.3	4.8	0.8	33.6
	80代以上	(929)	42.3	33.9	18.5	10.8	9.6	8.2	5.7	1.0	37.1
世帯年収別	200万円未満	(455)	35.6	18.0	9.9	6.6	5.3	5.3	2.6	0.7	50.8
	200~400万円未満	(1,768)	44.5	29.9	16.2	11.5	7.2	7.5	3.7	0.7	35.5
	400~600万円未満	(1,116)	47.3	38.8	21.0	11.7	10.3	8.2	4.7	0.8	30.4
	600~800万円未満	(522)	50.4	43.7	26.6	14.4	10.0	15.3	6.5	0.8	22.4
	800~1000万円未満	(274)	50.4	39.8	24.1	14.6	11.7	11.3	7.7	0.7	23.4
	1000万円以上	(296)	53.7	56.8	34.5	16.9	13.5	17.9	13.9	1.0	19.6

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 利用を検討してもよい金融商品は、「預貯金」(46.5%)が最も高く、次いで「株式」(30.4%)が高い。「投資信託」は17.3%で、「株式」に次ぐ第3位である。



# 4. 全般的な投資への意識と実態 (8)

## 利用を検討してもよい金融商品 (Q10)

												(%)
n=		預貯金	株式	投資信託	保険	債券	外貨建て商品	不動産投信	その他の金融商品	金融商品は利用を検討しない		
全体 (構成比)	(1,565)	46.5	30.4	17.3	11.2	8.2	7.9	4.8	0.5	35.2		
金融資産別	500万円未満 (1,011)	40.2	23.2	10.8	8.8	2.6	6.6	1.8	1.2	41.0		
	500万円～1000万円未満 (509)	47.3	36.0	16.9	11.6	5.9	6.7	2.6	0.6	26.3		
	1000万円～3000万円未満 (966)	57.5	45.4	26.1	14.2	11.2	9.7	6.6	1.0	17.9		
	3000万円～5000万円未満 (474)	59.3	49.8	36.1	17.3	16.0	14.1	9.7	0.2	15.2		
	5000万円～1億円未満 (301)	58.5	58.1	34.6	20.3	24.9	22.6	15.6	1.7	11.6		
	1億円以上 (100)	61.0	66.0	40.0	20.0	35.0	30.0	22.0	1.0	13.0		
投資経験別	現投資者 (2,453)	52.3	60.2	34.9	14.0	15.7	15.1	9.6	1.0	12.5		
	過去投資者 (980)	46.4	15.5	7.4	11.9	3.8	5.5	0.7	0.8	41.5		
	未投資者 (1,722)	36.2	4.2	2.3	9.1	0.6	1.5	0.5	0.2	59.3		

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 投資経験別でみると、現投資者では「株式」の利用検討意向が60.2%と、「預貯金」(52.3%)を上回る。一方で、過去投資者・未投資者においては「預貯金」以外の利用検討意向が低く、「金融商品は利用を検討しない」もそれぞれ41.5%、59.3%存在する。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (9)

## 信頼できる資産運用の情報源

(Q11)

		n=	新聞	テレビ番組	金融機関の担当者	金融機関の資料	親族や知人、友人の話	情報サイト	ネットの情報	投資商品や資産運用に関する本	ベリジや刊行物のホーム	公的機関などのホーム	投資商品の販売ページ	雑誌	評価機関	投資商品のホームページ	その他	特にない・わからない
全体 (構成比)		(1,565)	32.7	21.9	14.6	13.0	12.5	12.3	10.7	9.5	8.8	7.6	7.4	4.3	3.1	0.8	40.5	
性別	男性	(2,503)	38.4	21.8	13.0	14.4	6.8	14.8	13.5	10.0	10.0	9.7	8.9	6.6	4.0	0.9	37.3	
	女性	(2,652)	29.6	21.5	16.9	12.0	16.1	8.2	8.5	8.3	7.8	8.1	6.4	3.9	3.2	0.6	42.0	
年代別	60代	(2,367)	31.5	25.0	13.3	10.6	11.4	12.6	11.5	9.9	7.6	8.4	8.6	4.9	3.4	0.4	40.1	
	70代	(1,859)	35.7	19.7	16.2	14.4	12.2	10.7	10.1	8.5	9.2	10.0	6.6	5.4	3.8	1.0	38.7	
	80代以上	(929)	36.0	17.1	17.0	17.3	10.9	9.7	11.0	8.6	11.3	7.6	7.2	5.8	3.8	1.2	40.9	
世帯年収別	200万円未満	(455)	20.7	20.9	9.9	9.7	8.1	7.0	8.1	5.3	5.7	6.6	4.2	2.6	2.6	0.7	49.2	
	200~400万円未満	(1,768)	32.2	21.0	15.2	11.8	11.2	10.6	10.7	8.2	9.6	7.6	5.7	4.8	3.2	0.7	40.2	
	400~600万円未満	(1,116)	39.8	22.0	13.4	13.7	11.3	13.1	11.2	9.8	8.7	9.0	8.4	5.9	2.9	1.3	36.2	
	600~800万円未満	(522)	39.8	22.8	17.0	15.9	13.6	15.3	12.5	10.5	8.8	12.8	10.5	6.9	7.1	0.4	35.2	
	800~1000万円未満	(274)	39.1	24.1	21.5	16.4	14.2	12.0	11.7	10.9	9.9	12.4	12.4	6.6	4.7	-	31.0	
	1000万円以上	(296)	48.6	25.0	26.0	23.0	15.5	17.6	16.9	13.9	10.5	13.5	15.9	9.5	5.4	1.4	24.7	

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 信頼できる資産運用の情報源は「新聞」(32.7%)、「テレビ番組」(21.9%)が上位に挙がる。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (10)

## 信頼できる資産運用の情報源 (Q11)

		n=	新聞	テレビ番組	金融機関の担当者	金融機関の資料	親族や知人、友人の話	情報サイト	ネットの情報	運用に関する資産	刊行物	公的機関など	テレビ番組の売	雑誌	評価機関	ホーミングサービス	投資商品を運	その他	知らない・わからない	(%)
全体 (構成比)		(1,565)	32.7	21.9	14.6	13.0	12.5	12.3	10.7	9.5	8.8	7.6	7.4	4.3	3.1	0.8	40.5			
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(1,293)	46.6	23.4	31.0	22.4	11.9	15.9	14.7	15.8	9.5	16.9	11.6	8.6	8.4	1.2	21.5			
	過去保有者	(950)	43.5	23.6	12.9	15.6	13.7	18.4	16.6	10.1	11.5	11.4	10.3	9.4	3.6	1.1	27.5			
	非保有経験者	(2,912)	25.0	20.3	8.6	8.3	10.8	7.1	7.4	5.9	7.7	4.5	5.0	2.4	1.5	0.4	51.8			
金融 資産別	500万円未満	(1,011)	27.8	23.7	11.3	8.3	8.8	8.8	10.2	7.6	7.9	5.4	5.3	3.9	2.4	0.6	44.9			
	500万円~1000万円未満	(509)	35.4	22.0	11.6	12.2	10.8	14.3	12.8	9.4	9.2	9.2	8.8	4.3	3.3	1.4	33.2			
	1000万円~3000万円未満	(966)	42.1	22.8	18.8	16.1	12.6	15.7	13.9	12.0	9.1	12.6	10.4	6.6	5.4	0.6	29.4			
	3000万円~5000万円未満	(474)	48.1	23.6	23.0	22.2	17.1	18.1	14.6	14.8	13.3	13.7	11.8	11.6	5.5	0.2	21.9			
	5000万円~1億円未満	(301)	54.2	24.9	28.2	24.6	15.0	16.9	15.6	16.9	9.0	14.0	13.3	9.3	6.0	1.0	21.6			
	1億円以上	(100)	57.0	34.0	29.0	24.0	12.0	16.0	17.0	16.0	12.0	17.0	21.0	9.0	9.0	3.0	22.0			
投資 経験別	現投資者	(2,453)	46.9	24.9	21.8	19.6	13.4	19.0	15.9	13.5	9.6	14.9	11.7	8.8	6.2	1.0	21.9			
	過去投資者	(980)	30.3	20.5	10.5	10.5	11.4	7.6	9.8	7.8	11.5	5.8	5.4	4.0	2.2	1.0	41.6			
	未投資者	(1,722)	17.2	17.8	8.0	5.5	9.2	2.7	4.4	3.8	6.3	2.0	3.1	0.8	0.6	0.2	64.0			
投資信託 購入意向 別	継続保持意向者	(489)	56.0	28.4	41.1	30.9	12.7	22.5	21.3	20.9	13.1	25.8	15.7	12.9	13.7	0.8	11.2			
	新規保持意向者	(226)	49.6	37.2	20.8	25.2	14.2	28.3	20.4	22.6	19.9	19.0	20.4	11.9	6.6	0.9	11.1			

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 投資経験別で見ると、上位メディアの傾向はどの層でも変わらない。  
ただし、過去投資者・未投資者では現投資者より「特にない・わからない」の割合が高く、特に未投資者では64.0%に及ぶ。
- 投資信託購入意向別で見ると、継続保持意向者では「新聞」「金融機関の担当者」「金融機関の資料」が高い。  
一方で新規保持意向者では、全体の傾向同様「新聞」「テレビ」が高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (11)

## 金融商品・投資商品認知状況 (Q12)

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投信	(%)
全体 (構成比)		(1,565)	91.9	84.1	82.8	67.9	58.5	
性別	男性	(2,503)	94.2	87.7	86.1	75.3	68.2	
	女性	(2,652)	91.6	85.3	82.0	67.0	55.0	
年代別	60代	(2,367)	92.9	85.1	83.0	71.3	58.4	
	70代	(1,859)	94.4	89.7	86.6	72.1	63.2	
	80代以上	(929)	89.9	83.4	81.5	68.0	65.7	
世帯年収別	200万円未満	(455)	86.6	77.4	76.9	63.3	50.8	
	200~400万円未満	(1,768)	92.4	86.1	83.8	69.2	60.0	
	400~600万円未満	(1,116)	94.5	87.3	86.0	74.3	65.7	
	600~800万円未満	(522)	95.8	90.8	88.1	77.8	68.8	
	800~1000万円未満	(274)	97.1	91.2	88.0	76.6	65.3	
	1000万円以上	(296)	97.0	94.6	89.5	83.4	76.0	

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 金融商品・投資商品の認知状況をみると、「株式」(91.9%)の認知率が最も高く、次いで「投資信託」(84.1%)である。
- 「投資信託」の認知率は、世帯年収が上がるほど高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (12)

## 金融商品・投資商品認知状況 (Q12)

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投信	(%)
全体 (構成比)		(1,565)	91.9	84.1	82.8	67.9	58.5	
金融資産別	500万円未満	(1,011)	90.2	78.9	79.5	62.3	52.4	
	500万円～1000万円未満	(509)	94.9	89.8	86.1	73.5	63.9	
	1000万円～3000万円未満	(966)	96.9	93.4	89.3	81.1	70.0	
	3000万円～5000万円未満	(474)	97.7	95.8	92.4	86.9	77.0	
	5000万円～1億円未満	(301)	97.3	96.7	92.4	89.7	78.1	
	1億円以上	(100)	96.0	93.0	93.0	91.0	87.0	
投資信託 購入意向別	継続保持意向者	(489)	98.6	100.0	94.7	92.2	86.9	
	新規保持意向者	(226)	97.3	93.4	91.2	86.3	77.9	

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート ※「継続保持意向者」は投資信託を認知・現保有が条件であるため、投資信託のスコアは100%となる

- 投資信託購入意向別でみると、継続保持意向者・新規保持意向者とも、全体と比べ各商品の認知率が高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (13)

## 金融商品・投資商品保有経験状況

(Q12)

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投信	(%)
全体 (構成比)		(1,565)	53.6	43.5	28.2	21.9	11.5	
性別	男性	(2,503)	64.4	45.7	30.0	25.2	13.5	
	女性	(2,652)	45.3	41.4	27.1	21.9	10.8	
年代別	60代	(2,367)	47.1	37.1	22.7	20.7	10.2	
	70代	(1,859)	60.7	48.4	31.5	24.5	12.5	
	80代以上	(929)	61.6	50.1	37.1	28.8	16.1	
世帯年収別	200万円未満	(455)	39.1	30.5	19.6	19.3	6.4	
	200~400万円未満	(1,768)	52.7	43.3	26.5	21.4	10.7	
	400~600万円未満	(1,116)	60.1	46.8	32.0	24.9	13.4	
	600~800万円未満	(522)	63.4	46.7	32.6	27.6	14.8	
	800~1000万円未満	(274)	60.6	53.3	36.5	30.7	16.8	
	1000万円以上	(296)	75.3	59.8	44.3	36.8	22.0	

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 金融商品・投資商品の保有経験状況を見ると、「株式」(53.6%)の保有経験率が最も高く、次いで「投資信託」(43.5%)である。
- 「投資信託」の保有経験率は、女性より男性で、60代より70代・80代以上で、また世帯年収が上がるほど、高い。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (14)

## 金融商品・投資商品保有経験状況 (Q12)

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投信	(%)
全体 (構成比)		(1,565)	53.6	43.5	28.2	21.9	11.5	
金融資産別	500万円未満	(1,011)	39.2	24.4	12.3	11.8	5.4	
	500万円～1000万円未満	(509)	58.2	44.0	25.5	20.2	10.0	
	1000万円～3000万円未満	(966)	70.6	54.9	35.8	28.5	14.2	
	3000万円～5000万円未満	(474)	76.6	71.9	50.8	40.5	22.4	
	5000万円～1億円未満	(301)	80.1	78.1	60.1	51.8	32.2	
	1億円以上	(100)	89.0	76.0	66.0	56.0	33.0	
投資信託 購入意向別	継続保持意向者	(489)	87.3	100.0	60.9	52.6	37.2	
	新規保持意向者	(226)	66.4	45.6	26.5	23.0	11.9	

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート ※「継続保持意向者」は投資信託を認知・現保有が条件であるため、投資信託のスコアは100%となる

- 投資信託購入意向別でみると、新規保持意向者は「株式」の保有経験率は全体と比べ高いが、他の商品については全体並み。

# 4. 全般的な投資への意識と実態 (15)

## 金融商品・投資商品保有状況 (Q12)

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投信	(%)
全体 (構成比)		(1,565)	36.5	24.2	12.1	10.2	5.2	
性別	男性	(2,503)	44.5	26.6	11.3	11.5	6.2	
	女性	(2,652)	30.8	23.6	12.1	10.7	5.2	
年代別	60代	(2,367)	31.9	21.6	10.1	11.0	4.8	
	70代	(1,859)	42.2	27.1	11.9	10.9	5.7	
	80代以上	(929)	42.3	29.8	15.3	11.9	7.9	
世帯年収別	200万円未満	(455)	22.9	16.5	6.2	8.8	3.1	
	200~400万円未満	(1,768)	34.2	23.5	9.9	9.5	5.1	
	400~600万円未満	(1,116)	43.4	26.9	14.9	11.8	5.9	
	600~800万円未満	(522)	46.0	29.7	13.0	14.0	6.3	
	800~1000万円未満	(274)	45.6	34.3	16.8	13.5	7.7	
	1000万円以上	(296)	59.8	38.5	20.9	21.6	13.5	

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 金融商品・投資商品の保有状況を見ると、「株式」(36.5%)の保有率が最も高く、次いで「投資信託」(24.2%)とである。
- 「投資信託」の保有率は、60代より70代・80代以上で高く、また世帯年収が上がるほど高い。



# 4. 全般的な投資への意識と実態 (16)

## 金融商品・投資商品保有状況 (Q12)

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投信	(%)
全体 (構成比)		(1,565)	36.5	24.2	12.1	10.2	5.2	
金融資産別	500万円未満	(1,011)	17.3	10.1	3.4	2.8	1.5	
	500万円～1000万円未満	(509)	40.1	21.2	6.3	7.1	3.5	
	1000万円～3000万円未満	(966)	53.1	34.9	14.5	14.1	6.5	
	3000万円～5000万円未満	(474)	62.9	49.6	24.3	20.9	10.8	
	5000万円～1億円未満	(301)	70.8	56.1	36.9	34.2	17.6	
	1億円以上	(100)	80.0	57.0	46.0	42.0	26.0	
投資信託 購入意向別	継続保持意向者	(489)	76.9	100.0	33.5	33.3	22.7	
	新規保持意向者	(226)	45.6	-	6.6	10.6	3.1	

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート ※「継続保持意向者」は投資信託を認知・現保有が条件であるため、投資信託のスコアは100%となる

- 投資信託購入意向別でみると、新規保持意向者は「株式」の保有率は全体と比べ高いが、他の商品については全体と同等かそれ以下。

# 5. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識 (1)

## 普段の生活の楽しみ・大切にしていること (Q2)

		n=	趣味	家族との時間	健康管理	旅行	友人・知人との時間	外食	家事	仕事	ボランティア	子育て(孫・ひ孫を含む)	その他	特にな
			%											
全体 (構成比)		(1,565)	64.7	54.2	53.8	51.2	42.7	26.1	23.6	12.5	10.0	9.5	2.0	6.3
性別	男性	(2,503)	68.8	54.9	54.9	50.2	33.8	22.5	13.5	16.7	9.7	9.4	1.2	6.9
	女性	(2,652)	61.1	55.0	50.3	53.9	50.4	31.8	29.4	10.6	9.4	9.7	2.0	5.5
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	70.0	56.2	59.2	63.5	49.0	33.1	22.0	13.6	12.5	10.6	1.5	3.6
	過去保有者	(950)	68.0	60.4	59.5	56.5	49.6	28.5	24.8	12.5	12.5	10.4	1.7	3.7
	非保有経験者	(2,912)	61.5	52.6	47.3	45.6	37.1	24.3	20.6	13.8	7.3	8.8	1.6	8.1

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

## 就業状況・意識 (Q23)

		n=	■ 現在働いている	■ 退職したが、再就職したい	■ 元々働いていなかったが、これから働きたい	■ 現在働いておらず、今後も働くつもりはない	就労意向計 (%)
全体 (構成比)		(1,565)	27.3	4.5	3.3	64.8	7.9%
性別	男性	(2,503)	38.5	4.7	0.6	56.3	5.2%
	女性	(2,652)	20.4	3.8	4.3	71.6	8.1%
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	26.5	3.9	3.4	66.2	7.3%
	過去保有者	(950)	22.5	4.1	2.3	71.1	6.4%
	非保有経験者	(2,912)	32.6	4.4	2.1	61.0	6.5%

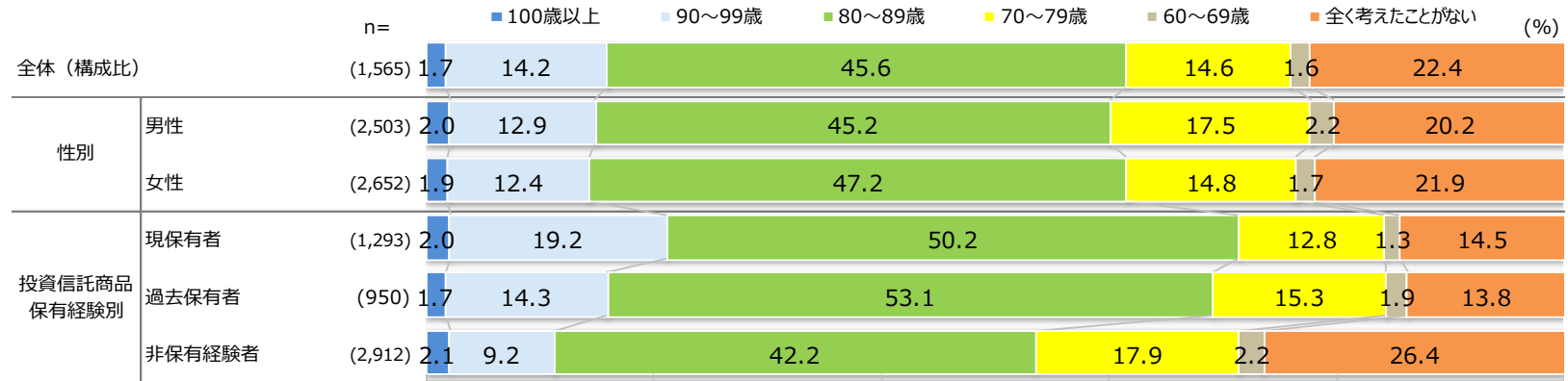
※就労意向計: (「退職したが、再就職したい」+「元々働いていなかったが、これから働きたい」) のスコア

- 普段の生活の楽しみ・大切にしていることは、「趣味」(64.7%)、「家族との時間」(54.2%)、「健康管理」(53.8%)、「旅行」(51.2%)が上位に挙がった。  
投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者は非保有経験者より全般的にスコアが高く、楽しみ・大切にしていることが多い様子。
- 就労状況・意識は、「現在働いている」27.3%、就労意向者が7.9%、「現在働いておらず、今後も働くつもりはない」64.8%。

# 5. 60歳以上の現在の生活や今後への意識 (2)

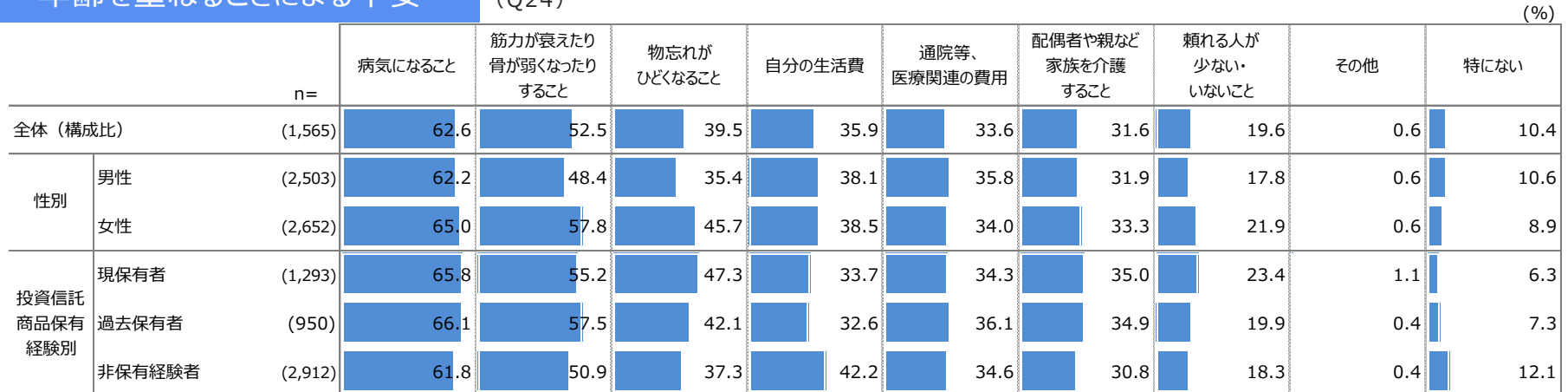
## 自身の想定寿命

(Q29)



## 年齢を重ねることによる不安

(Q24)



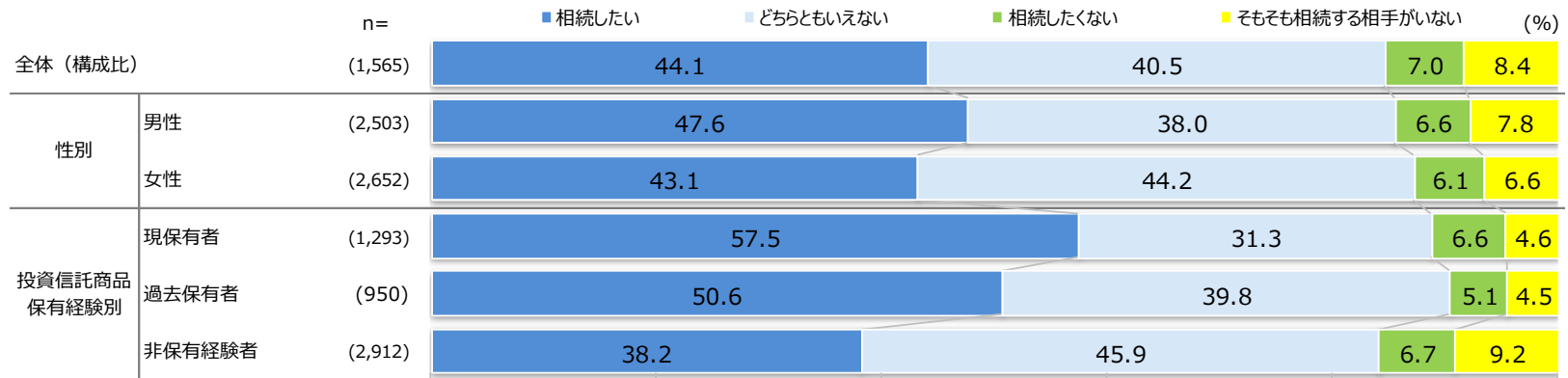
※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 自身の想定寿命は、「80~89歳」が最も多く、45.6%。投資信託現保有者は「90~99歳」(19.2%)の割合が他の層より高い。
- 年齢を重ねることによる不安は、「病気になること」(62.6%)、「筋力が衰えたり骨が弱くなったりすること」(52.5%)が上位に挙がる。投資信託商品保有経験別でみると、現保有者は「物忘れがひどくなること」「家族を介護すること」「頼れる人が少ない・いないこと」が非保有経験者より高い。一方で非保有経験者では「自分の生活費」が現保有者・過去保有者より高い。

# 5. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識 (3)

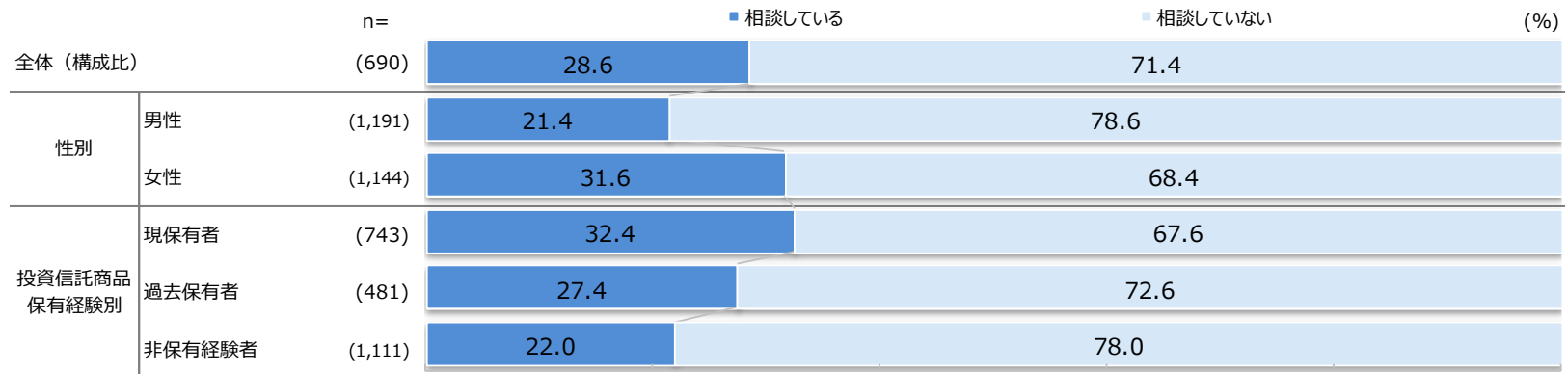
## 財産の相続意向

(Q25)



## 財産相続の相談状況

(Q26) ※財産相続意向者ベース



- 自分の財産の相続意向は、「相続したい」が44.1%で最も高く、僅差で「どちらともいえない」(40.5%)が続く。投資信託商品保有経験別でみると、現保有者では「相続したい」が57.5%と高い。
- 相続意向者のうち、相続について相続相手と「相談している」は28.6%。投資信託商品保有経験別でみると、現保有者では非保有経験者より「相談している」割合が高い。

# 5. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識 (4)

## 引き継いでもらいたい資産

(Q27) ※財産相続意向者ベース

		n=	家屋	土地	金等の 貴金属や 宝石	美術品・ 骨董品	その他の 実物資産	現金・ 預貯金	生命保険の 保険金	株式	投資信託	債券	生命保険 以外の 保険金	その他の 金融資産	特にな い	(%)
全体 (構成比)		(690)	71.4	68.1	15.9	5.2	1.3	83.6	41.9	32.9	19.4	10.1	0.6	0.6	3.5	
性別	男性	(1,191)	80.8	77.9	10.2	5.5	1.1	82.1	37.4	38.5	21.5	8.6	0.3	0.7	2.9	
	女性	(1,144)	58.0	54.5	21.3	4.6	1.1	84.6	40.6	27.8	20.5	9.6	0.7	0.5	3.8	
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(743)	74.2	69.9	18.7	6.5	1.5	91.0	51.1	56.3	63.5	19.9	0.4	0.4	1.2	
	過去保有者	(481)	71.1	69.6	16.2	5.6	1.5	85.7	36.8	38.5	2.5	8.3	0.6	0.6	1.9	
	非保有経験者	(1,111)	66.0	62.8	13.3	3.9	0.7	77.2	31.7	15.7	0.6	2.3	0.5	0.7	5.4	

※カテゴリごとに「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

## 相続する資産の現金化意向

(Q28) ※金融資産相続意向者ベース

		n=	相談済・全て現金化		相談済・一部現金化		相談済・現金化無		相談中・未定		相談無・未定		現金化 意向計 (%)
			相談済・全て現金化	相談無・全て現金化	相談済・一部現金化	相談無・一部現金化	相談済・現金化無	相談無・現金化無	相談中・未定	相談無・未定			
全体 (構成比)		(409)	4.6	3.2	9.0	9.0	9.0	10.3	15.9	38.9			27.1%
性別	男性	(705)	3.8	2.3	6.5	6.5	12.8	9.6	21.4	37.0			28.5%
	女性	(667)	4.0	3.0	8.2	13.6	9.0	6.9	13.2	42.0			22.9%
投資信託商品 保有経験別	現保有者	(615)	4.4	3.7	8.3	10.4	10.4	9.9	17.2	35.6			28.5%
	過去保有者	(298)	3.7	1.3	7.7	10.4	16.1	9.1	20.1	31.5			30.2%
	非保有経験者	(459)	3.5	2.0	5.9	9.2	8.3	5.7	15.9	49.7			19.4%

※現金化意向計:相談済・相談無 (「全て現金化」+「一部現金化」) のスコア

- 相続意向者において、引き継いでもらいたい資産は、「現金・預貯金」(83.6%)、「家屋」(71.4%)、「土地」(68.1%)が上位に挙がる。「投資信託」は、投資信託現保有者においては63.5%が相続意向を持っている。
- 金融資産相続意向者のうち、現金化意向者は27.1%。その内訳は、「相談済・全て現金化」(4.6%)、「相談済・一部現金化」(3.2%)、「相談無・全て現金化」(9.0%)、「相談無・一部現金化」(10.3%)。